



2020年(令和2年)7月号

中野区立江原小学校 学校便り

校長 根来 郁明 児童数 512名

学校教育目標

自立し、共に生き、平和を求める子
『かしこく』『やさしく』『たくましく』

「やさしく」 豊かな心を育てるために

校長 根来 郁明

1. あいさつができる子

どこの学校でも、あいさつができないことが話題になります。江原小学校でも、保護者や地域の方々から同じ様な声が聞こえてきます。全校朝会では、あいさつの大切さやあいさつのポイントについて話をしています。教室では、担任の先生から話をしています。だから、「あいさつは大切だ」ということは、みんなが分かっているはずです。

私は、毎朝、一人ひとりの目を見て、あいさつするように心がけています。「今日も元気に学校に来たね。」「今日も一日がんばろう。」というメッセージを込めてあいさつをしています。だから、あいさつを返されると自分の存在を認められたようで、とてもうれしい気持ちになります。「校長先生、今日も元気に来たよ。」「今日もがんばるよ。」という心の声が聞こえる気がします。反対に、あいさつが返ってこないと自分の存在が無視されたようでとても悲しい気持ちになります。

人と人とのつながりの第一歩は「あいさつ」です。相手の存在を認め、自分から先に「あいさつ」する子がたくさん増えてほしいと思っています。

2. 返事ができる子

名前を呼ばれた時、「んっ」、「えっ」、「何」、「……（無言で振り向くだけ）」という人がいます。授業中、先生に名前を呼ばれた時は上手に返事ができていたとしても、家族に名前を呼ばれたり、友達に名前を呼ばれたりした時に、返事ができていない人がいます。

私は、どんなに忙しい時でも、仕事に集中している時でも、「はい」と相手の目を見て返事をするように心がけています。とはいえ、校長室の窓越しに子どもたちから呼ばれた時には、しっかりと返事ができていないことがたくさんあります。考え事をしていたり、作業に集中していたりすると、「振り向くだけ」や「んっ」ということがあります。

名前を呼んだ時、相手がしっかりと返事をしてくれるとうれしい気持ちになります。名前を呼ばれたら、相手が誰であっても、相手を尊重する気持ちをもって、「わたしはここにいるよ。」「しっかりと話を聞いているよ。」と、元気に明るく返事をしてほしいと思います。

登下校時、廊下や階段ですれ違った時、自分から先にあいさつをしてくれる人が増えてきたので、とてもうれしく思っています。相手の存在を認め、気持ちを込めて「あいさつ」ができる子、相手を尊重する気持ちをもって、しっかりと「返事」ができる子が増えてほしいと願っています。